大わらじと担ぎ手の威勢のい

で



▲大わらじ制作は福島市御山地区の「大わらじ作業所」で行われる

失三山暁まりり

平成29年2月10日(金)·11日(祝)

●大わらじ奉納・子供わらじパレード(時間は予定) 【出発】10日午前9時:大わらじ作業所 【御山太々神楽 舞の奉納】

10日午前11時20分:福島駅東口広場 【奉納】10日午後3時:羽黒神社 ※子供わらじパレードは、護国神社で終了

- 暁まいり福男福女競争なども行われます。

市役所

八世才 470

こむこむ

稲荷神社

らじ2基を交代で担ぎました。

らじと小学生たちが元気

重さ約70キロ

グラムのわ

長さ2・5

内の小学生

の試み

道開きの神と言わ

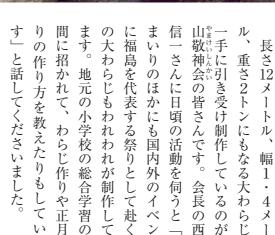
れる天狗を

です

人々を楽しませる信夫三山らじと担ぎ手の威勢のいい 福島の伝統行事に足を運 一晩ま ▲元気いっぱいに「子供わらじ」を担ぐ小学生たち (撮影/市民カメラマン 渡部司さん) 名月の碑



2月10・11日の「信夫三山暁まいり」が近付いてきました。江戸時 弋から続く早春の伝統行事は、五穀豊穣と健康を祈願し、信夫山 羽黒神社に日本一の大わらじを奉納することで広く知られていま す。また、急な雪の参道を男女が助け合って登り参拝することか 気な掛 ら縁結びにもご利益があるとも言われています。今号では、奉納 する大わらじ作りの技術を継承する「御山敬神会」会長の西坂信一 さんに歴史や見どころ、わらじ作りの秘話などを伺いました。



とも て いた大わらじ

うになったことが始まり 東に熊 る羽黒神社の

して れて

会長 **西坂 信一**さん 昭和11年生まれ。御山地区の氏子らで組織し、

大わらじ作りの技術を継承する「御山敬神会」 6代目会長。黒沼神社筆頭総代。曽祖父は、もと もとあった里神楽を29座からなる演目に編成し た御山太々神楽の家元。

中央に

『農の わら わらじと言 ら制

います。

東は必要です んたちは などの作 たの 0) わ 0) n ※1 わら打ち…田んぽから刈りとったわらはそのままでは使えないので叩いて柔らかくする作業 ※2わらすぐり(藁選り)…わらの周りの余分な袴を取り除き、茎だけを残す作業

▲羽黒神社に奉納される大わらし